

令和6年2月15日 小垣江地区広報部

2024年元旦

新年、明けましておめでとうございます。
本年も皆様と共により住み良い町づくりを進めたいと思います。

小垣江自治会 地区長



12月29日(金) 防火運動

師走も押し迫った29日、小垣江消防団の10分団、11分団、12分団の各詰め所に刈谷消防署、小垣江自治会と市議が激励と労いの訪問を行いました。一年間地域の防火、安全に務めていただきありがとうございました。皆様も引き続き火の用心をよろしくお願い致します。



1月7日(日) 地区安全祈願祭

新しい年を迎え、今年も小垣江地区の火の用心、災害用心、交通安全を祈願する安全祈願祭が行われました。今年は元旦に能登半島地震が発生し、始めに全員で黙とうを捧げました。参加者は例年にも増して災害を身近に感じられていると思います。火災や災害に対しては、自分でできる事(自助)、協力して対応する事(共助)を、もう一度考えて頂くと共に、令和6年も地域を上げて防火と減災に向けて取組んでいきましょう。



1月28日(日) 健康講演会

今年は市民館2Fを満員にして、小垣江にしおクリニックの西尾先生を座長に、藤田医科大学の渡辺先生を講師にお迎えして、「認知症の予防、診断、治療に関する最近の話題」と題して講演いただきました。まず、認知症を3タイプに分け、その症状、メカニズムと評価手法、治療法を解り易く説明頂きました。また、認知症の予防として、良い食生活・運動など生活習慣のは是正、読書・音楽鑑賞などの知的活動、ボランティアなどの社会活動などにより、認知症の発症時期が遅くなる可能性をご説明頂きました。渡辺先生、西尾先生、誠にありがとうございました。



読んでおくれん
シリーズ 100

「小垣江の歴史・文化・史跡探訪」

小垣江ゆかりの人物 その3

内藤 元久

「碧海知名人士禄」より

11、「坂野瑞泉師」 君は依佐美村誓満寺の住職にして令聞あり、誓満寺は浄土宗鎮西派に属する末寺にして古き歴史を有する古刹なり、是の名寺にこの名僧を住職たらしめし仏天配剤の至れり盡くせるには何の辞を以てするも感謝の辞なきなり

12、「鶴見友七」 君は依佐美村字小垣江の人明治15年の出生に係る、米穀商其他を以て信用の厚き他に比なし、以来商人は機を見るに敏なるを要するは勿論なるも、其の機たるや一上一下神ならぬ身のいかで百発百中すべき君か今日の成功は實に幸運の二字が君の四圍を彩どり居るを想う、君この言を聞いて果して背くや否や



13、「長谷川竹二郎」 君は依佐美村大字小垣江の人安政5年8月12日の出生なり、明治22年小垣江村の戸長となる、これ君が公職に係わるの第一関門なりし、その後村長郡会議員を経て36年愛知県会議員となる、38年愛三織物同業組合長となり40年再び県会議員に再選せらる君が愛三織物同業組合長として盡せる功績は永く県下織物界の青史に特筆すべきもの、組合は君の功績を表彰せん為金杯を賜る、君の栄やまた羨むべきなり



14、「平松善兵衛」 君は依佐美村小垣江の人、家産祐かにして順調に棹さし来れる幸福児なり、依佐美村長として令聞ありし君、郡会議員其他の公職に係わることまた頗る多し、現に郵便局長として職責に忠実なり、君人と語る墻壁を設げず衆これを喜ぶ



15、「平野惣二郎」 君は依佐美村字小垣江新田の人明治7年の出生なり、蚕桑の熱心家として蚕種の改良に盡す所少なからず、經營する所の西三平野養蚕傳習所は君が心血を披瀝せる事業の結晶なる宜なる哉盛名遠く各国に鳴りて其の蚕種また定評あり不文これを稿するは盛名を毀くるものたるや勿論なり、然り筆を投するの勝れる思う（次号に続く）

2月中旬
～3月中旬
の予定

・ 2月20日(火) 交通ゼロの日 ······ 班長・見守り隊・パト隊・地区